



2017年10月5日 第2299回例会
10月第1例会

RIテーマ ROTARY: MAKING A DIFFERENCE
「ロータリー:変化をもたらす」

本年度会長テーマ
「共に学び 共に実践を」

「経済と地域社会の発展月間」「米山月間」

◆会長時間◆

村上会長



10月は、ロータリーの「経済と地域社会の発展月間」になっています。

ロータリーは、貧困問題に持続可能な解決策をもたらすために活動しています。貧しい地域社会の経済発展を促すための人々の能力・スキル向上・生産性の高い仕事の創出・支援が行き届いていない地域社会での貧困の削減・経済と地域社会の発展に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金支援など、世界の各地で様々な取り組みを実施して、地域社会とそこに住む人々が経済的、社会的に自立できる道を開いています。起業家とリーダーの育成、特に女性のエンパワメントは、地域社会の発展に欠かせません。ロータリー会員とロータリー財団は、自立に役立つスキルの指導、家計を支えるための就職支援などを通じて、人々と地域社会の自立を促しています。

今月は日本独自の「米山月間」でもあります。月間も目的は、米山奨学事業の意義を深く認識し、寄付金を募る活動をすることです。平和を愛し、青少年に手をさしのべた日本ロータリーの父米山梅吉翁の遺徳を祈念する事業として、1952年、東京ロータリークラブが海外からの留学生を支援する国際奨学事業を始めました。やがて全国のロータリークラブの共同事業として発展し、財

ロータリー米山記念奨学会が設立されました。この事業は全国のロータリアンからの寄付金を財源として運営され、日本と世界を結ぶ架け橋となって活躍する人材を育成することが事業の使命となっています。

新会員に会員証、ロータリーバッヂ、四つのテスト及びロータリアンの行動規範を贈呈



川 村 聰 君

●会務報告

前橋幹事

※例会終了後、4階「ジャスミン」において10月定例理事会を開催いたしますので、理事会メンバーは出席願います。

※香川(基)君より福屋八丁堀本店で催される「広島いけばな代表作家展」の招待券をいただいております。お持ち帰りください。

★2017-18年度 第一回中間報告書

(報告期間 2017年7月1日～9月30日)

国際ロータリー第2710地区

2016-2017年度 地区補助金奨学生

三澤 志織

長い夏休みが明け、8月末から新学年が始まり

ました。今回は、2017-18年度の第一回目として、夏休み中の成果と新しく始まった新学期についてご報告します。

学業面での成果

1. 学校について

夏休みには、2年次に取り組む卒業論文の準備を進めていました。私の取り組む卒業論文は、翻訳論文といい、自分で選択した本の一部の翻訳と、その翻訳プロセスを分析、説明したコメントリーの二部構成となっています。新学期から翻訳作業に入れるように、夏休み中は本の選定を行いました。選定といっても、ただ選ぶだけではなく、候補の書籍を数点選ぶことから始まり、候補の本の試訳、試訳を基に最終候補の選定、出版社から翻訳許可の取得、というプロセスを経て、正式に翻訳素材が決定します。候補選びに苦戦したり、出版社からの翻訳許可を取得できるか少し心配したりもありましたが、なんとか順調に準備を整えることができ、無事に新学期から翻訳作業を開始することができました。卒業論文での翻訳が、通常の授業で行う翻訳と異なるのは、ひと続きの長い文章に長期間かけて取り組むことと、翻訳チェックを務めてくれる人を探し、教授に原稿を提出前に翻訳のチェックをしてもらう必要があるということです。私のプログラムでは、卒業論文は任意なのですが、幸い同じように論文に取り組むことに決めたクラスメイトがいるため、お互いの翻訳チェックをし合うことができました。範囲を決めて定期的に翻訳チェックをし合っているのですが、それが良いペースメーカーとなるだけでなく、他人の翻訳をチェックすることで、気づくことや学ぶことがあると感じています。それと同時に、改めて他の人が訳したものを見ることの難しさを感じます。翻訳者としてやっていくには、他人の翻訳チェックの作業は避けて通れないことなので、卒業論文での作業を通して鍛えていければと思っています。

また夏休み中には、前回ご報告した8月末にある通訳の再試験に向けた準備にも引き続き取り組んでいました。仕事後などにジュネーブと一緒に滞在していたクラスメイトと練習をしていたのですが、クラスメイトは英語ネイティブの子だったので、英語面と日本語面でフィードバックやアドバイスし合うことができたのが良かったです。また、ジュネーブでの生活は、私の英語力を向上させる上でも役立ち、それが通訳の面でも良い影響を与えてくれました。ジュネーブでの公用語はフランス語なのですが、職場は国際機関のためコミュニケーションは英語で対応できます。そのため、英語圏や英語環境の職場で働いたことがない私にとっては、とてもよい経験でした。再試験の結果については、残念ながら良い結果に至ることはできませんでした。これまで1年間頑張ってきたことや、夏休み中にも合間を見つけては練習してきたことを思うと、残念な思いや悔しい思いでいっぱいです。ですが、これまで練習や準備に一生懸命取り組んできたことは無駄ではないと思いますし、そのおかげで自分の中で成長できたことを実感しています。結果は残念でしたが、今後も諦めず勉強は続けていきたいと思います。

その一方で、夏休み中は、2年次の授業のことやその先についてじっくりと考える時間がありました。私は入学当時、翻訳と通訳、どちらも極めていきたいという想いでした。ですが、1年目を通じてだんだんとその想いが変わってきていたのを感じていました。そのことをずっと夏休み中考えていたのですが、将来極めたい道を考えた時、2年目に集中するべきなのは翻訳だと気づきました。1年目の授業やその他の経験を通して感じたこと、夏休み中のフェローシップでの経験、そこで出会った卒業生からのアドバイス、そして教授から伺った話などから、自分は本当に翻訳が好きで、自分に合っているのも翻訳だと分かりました。それに加え翻訳の奥深さや幅広さを考えた時、今もっと集中的に取り組んでおかないと、中途半端で終わってしまうと感じたからです。そのように考えていった結果、通訳も自分に必要で勉強を続けていく必要がありますが、授業に関しては翻訳に重点をおくことにしました。

また今学期からは、TA (Teaching Assistant) という教授の補助役をさせていただけるようになりました。仕事内容は私が所属する、通訳翻訳・ローカリゼーション管理プログラム日本語科のサイトの管理や、教授の授業の教材準備の手伝いなどです。まだ始まったばかりですが、良い経験に

なりそうで楽しみです。

2. WIPOでのフェローシップについて

約3ヶ月間のフェローシップは、8月の下旬に無事終了しました。WIPOでのターミノロジストとしての仕事は、実際に翻訳や通訳をするものではありませんでしたが、今後翻訳や通訳に活かせる考え方や技術を学ぶことができたことが大きな収穫でした。ターミノロジーの仕事で特に大切にされているのが、物や抽象的な事柄を、まず言葉ではなく概念またはイメージで捉えることです。具体的には、例えば英語で「chair」と言われたとき、日本語で「椅子」や「イス」という言葉を思い浮かべるのではなく、まず「chair」とはどういったものか、どういう特徴があるものかというイメージを思い浮かべ、それから、ではそのイメージを持ったものは日本語ではなんというだろう、と日本語で考えるということです。このchairの例は単純ですが、もっと複雑で専門的な用語になると、正しい対応語を探す際に、この考え方方がとても重要になってきます。そしてこれは、翻訳や通訳をする際にも非常に重要な考え方だと改めて気づかされました。訳をする際には、つい文字や言葉尻にとらわれてしまいがちですが、自然で質の良い訳をするためには、イメージやメッセージを捉えてそれを別の言語で表現することが重要だからです。この他にも、本当に信用できる情報なのか一つ一つ調べていく作業を通して、どこを調べれば信頼性の高い情報を得られるか、などのリサーチのコツを身につけることもできました。また、日本ではまだあまり浸透していないのですが、ターミノロジーという分野の学問についても少し学ぶ機会があったのも収穫でした。さらにフェローシップの業務以外の部分でも、新しい仲間と出会えたことや、違う国で暮らすことに



フェローシップの同僚たちとWIPOにて

よって様々な発見があつたり、視野を広げられたことなど、3ヶ月間で得たものは多く、とても充実した夏休みを過ごすことができました。

受入地区でのロータリーとの関わり

夏休み明けに、早速カウンセラーのLisaさんにお会いし、夏休み中のことについてご報告したり、Lisaさんのことについてもお聞きしたりしました。今学期は、残念ながら授業が受け入れクラブのミーティングの時間にちょうど重なってしまい、なかなか参加はかないそうにないため、その他の行事や活動で参加できるものがあればしていきたいと思っています。

そして早速、先日受け入れクラブのボランティア活動に参加させていただく機会がありました。参加させていただいたのは、Food Bankという貧しい家庭やホームレスの方に食べ物を提供する団体を支援する活動で、Food Bankの倉庫にて、配布用の食べ物を袋詰めする作業でした。昨年もFood Bank関連のボランティア活動に誘っていただいたことがあったのですが、残念ながら授業と重なり参加が叶わなかったので、今回は参加で良かったです。また、今回は同じ学校に今年から留学されている小田さんと一緒に参加しました。小田さんとは年齢も近く仲良くさせていただいている。最近Lisaさんと3人でランチもしました。

直面している課題、今後の目標

今学期から取り組み始めた卒業論文は、授業とは関係なく自分で作業を進めていく必要があるため、昨年よりも負荷が増え、授業とのバランス取りに苦戦しています。卒業論文ではせっかくの機会なので、これまで翻訳したことのないジャンルの書籍に挑戦することにしたのですが、著者の抽象的な考えの描写が頻出し、それを言葉にしていくのはなかなか難しく、納得のいくものに仕上げるのに想像以上に時間を取られてしまいます。また、授業で扱われる教材も、一段階難易度が上がり、リサーチにもさらに多くの時間が必要になりました。リサーチや訳の練り直しは、やればやるほどきりがないため、それをどのようにうまく区切りをつけて、すべてにバランスよく時間配分していくかが今後の課題です。



右・左：
ジュネーブにて

●委員会報告

■プログラム・出席委員会

出席報告 土井委員長

本日（10月5日・木曜日）

会員数 82名 出席者 67名

欠席者 15名 ご来客 0名

ご来賓 0名 ゲスト 0名

計 67名

前々回（9月21日・木曜日）

出席率 100%



●会員記念日

祝 10月お誕生日おめでとうございます。

（7名）

鈴木君

福田君

小田君

村上（智）君

前橋君

長谷川君

井下君



■新会員紹介

かわむら さとる
○ 川 村 聰 会 員
推 薦 者 吉 田 大 蔵 君
推 薦 同 意 者 原 敬 君

生年月日 1967年8月20日

勤務先 アールジェイ株式会社

役職名 代表取締役

学歴 上智大学 経済学部

この度、歴史と伝統ある広島西ロータリークラブに入会させていただきました川村聰と申します。入会に際しましては、推薦者の吉田大蔵様、推薦同意者の原敬様、さらには会員の皆様からのご承認をいただきましたことを、心から厚く御礼申し上げます。

私は佐伯区五日市で生まれ育ち広島城北高校を卒業後、東京の上智大学へ進学しました。大学では会計学を専攻していた関係で、公認会計士の資格試験を3回受験しましたが力及ばず、1993年に広島に戻り、父の経営する会社に入社しました。2002年8月より代表取締役に就任し現在に至っております。

弊社は住宅のメンテナンスに必要なワックスや塗料を、自社ブランド商品として国内各地にある代理店様を通じて全国に向けて販売しております。主に木材用に使用する商品が多く、特に木材用塗料の分野では原料に石油ではなく植物油を主成分とした自然塗料を開発し販売をしている国内では数少ないメーカーです。注文住宅の新築やリフォームなどをする際、消費者のライフスタイルや価値観が多様化しておりますが、様々なお客様の想いを的確にキャッチし、より快適で美しい住まいの実現のお手伝いができる会社であり続けたいと思っております。

家族は妻と長男長女の4人家族でございます。妻は東京出身で大学の後輩でしたが、私が広島に帰ることを機に結婚しました。妻は高校の頃、AFSという国際的な交換留学の組織を利用しアメリカで1年過ごしました。その影響を受け、二人の子供もAFSによりそれぞれアメリカとフランスに1年間交換留学を経験しております。現在は二人とも東京の大学に通っていますが、高校生の多感な時期に言語の通じない国で異文化を体験したことは、とてもよい経験になったようです。

ロータリークラブに入会させていただくにあた



り、まずは組織の目的や趣旨を理解することから始め、積極的に諸先輩方の教えを請い、交流を通して人間力を磨いていきたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

●スマイルボックス SAA 古屋君

☺松岡(輝)君（自主申告・トリプル）

先日、予てから訪問したかった「古河東（こがひがし）ロータリークラブ」の例会へ参加して参りました。

妻の実家のある茨城県古河市にあるクラブで、事情を説明すると大変温かく迎えていただきました。64名の会員中、女性会員が20数名いらっしゃり、とても和気あいあいとした例会でした。RI第2820地区の中でも活発な活動をされているクラブのようで、「ロータリーの友11月号のクラブ紹介」のページに掲載されるとのことでした。

ついでに妻の実家にも日頃のご無沙汰を詫びつつ、立ち寄ることも出来、私自身大変刺激と元気をいただくことが出来ました！

☺吉田君（自主申告）

9月26日に行われたもみじまんじゅうで有名なやまだ屋の85周年記念コンペで優勝しました。当日は貸し切りで表彰式はありませんでしたが、後日、優勝の賞品が送られてビックリでした。だまっていようと思いましたが、在広ロータリーの参加者も多く、言われる前に出宝します。

☺吉田君、原君、川村君(新入会員)、村上(健)君、柴田君

川村君、広島西ロータリークラブへご入会おめでとうございます。又、推薦者の吉田君、推薦同意者の原君、すばらしいメンバーを推薦いただき有り難うございました。川村君の今後の活躍を祈念申し上げ、出宝お願ひいたします。

実質的に入会に貢献された村上(健)君、柴田君も出宝お願ひいたします。

☺佐久間君

戸田建設では、この度、特殊塗料「オドキャッチャー」を開発・実用化されました。多孔質ゼオライトや二酸化チタン、更に銀や銅などの金属触媒を含む塗料で、臭いを吸着するだけで

なく触媒がにおい成分を分解し、消臭効果が半永久的に持続することです。戸田建設ではこの塗料を今後は病院、福祉施設や人が多く出入りする施設で使っていかれること、益々のご発展をお祈りいたします。

☺新本君

株式会社ウィズソルでは、48個の超音波探触子を使って連続して測定出来る非破壊検査装置を13年もの歳月をかけて開発されたこと、グループ全体の売上が94億円に達し、又、6年間で従業員が100人増えたことなどが、広島経済レポートにおいて紹介されていました。今後も益々の発展を祈念して、出宝をお願いいたします。

☺部谷君

広島銀行内定式の様子がテレビで放送され、部谷常務が「高い志と情熱をもって前向きに取り組んで欲しい」と話されていました。地元経済への益々の貢献を祈念して、出宝お願いします。

☺弥山クラブの10名の皆様（古屋君、井原君、井下君、日域君、中山君、諭訪(昭登)君、新原君、佐久間君、豊岡君、田中君）

8月11日は、2014年5月、山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝することを趣旨として山の日として制定されました。

歩いて登ると結構しんどい弥山ですが、山頂から眺める瀬戸内海はやはり美しいと思います。健康に、国際親善に、頑張っていただこうことを祈念して、弥山クラブの皆様に出宝をお願いします。

☺瀬崎君

9月21日付中国新聞によりますと、広島電鉄は、韓国ソウル市ノウォン区との間で、路面電車の中古車両1台を無償で譲渡する契約を締結されました。ノウォン区から打診があり、広電が応じたということで、ノウォン区とソウル市の地下鉄の駅との間を走る予定だそうです。両国の友好関係に役立つこととして敬意を表します。今後とも世界平和のために貢献されることを祈念申し上げ、出宝をお願いいたします。

■米山強調プログラム



米山奨学委員会
鮫島 茂君

10月は米山月間となっております。この時間をいただき、ロータリー米山記念奨学会の事業の目的を深く理解をいただき、奨学会への協力・支援をお願いしたいと思います。

奨学会は今年度財団設立50周年を迎えました。

事業を紹介する記念VTRが今回作られたようですので、始めに見ていただきましょう。

いかがでしたでしょうか？

皆さんたくさん寄付をしたくなつたんじゃないですか？

では少しロータリー米山記念奨学会についてパワーポイントを見ながら説明をさせていただきます。BOXにありました米山豆辞典も参照してご覧ください。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会とは、一言で言えば、「外国人留学生を支援する民間最大の奨学団体」です。

勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアン（ロータリークラブ会員）の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。

►目的は、

将来母国と日本との架け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することです。となっております。米山梅吉氏の歩みや奨学会の沿革については先ほどのVTRで触れておりまして、割愛させていただきます。

米山奨学生は、年間59人からスタートをし、現在約800名にまで増えております。事業規模は一時期より減ったとはいえ、外国人留学生に奨学金を出す民間団体では日本最大です。

2017学年度は、全国で793人、累計で世界125の国・地域から19,808人を支援しています。奨学生の国・地域別の割合はグラフのとおりで、累計では中国、韓国が多くなっていますが、近年ではベトナム・モンゴルの留学生が、以前に較べて

急増しています。

では事業の成果とは一体なんでしょうか？

米山奨学事業の唯一最大の財産は、学友です。巣立った奨学生です。近年では米山学友会もどんどん増えています。

学友会はいわばOB組織ですが、日本国内に33、海外には台湾・韓国・中国・タイ・ネパール、モンゴル・スリランカ・マレーシア・ミャンマーと、9つの学友会があります。

各学友会では様々な活動をしています。

米山記念奨学事業の成果、それは学友です。

2万人にせまる学友たちは、2011年、東日本大震災が起きたとき、発生直後から日本の無事を願う悲痛なメッセージが相次いで寄せられ、国内外の学友から760万円の義援金が送されました。

米山への寄付はロータリアンだけではありません。学友たちからもこれまでに2,851万円の寄付をいただいています（2017年6月末）。

ロータリアンになった学友数は、事務局が把握しているだけで227人、ガバナーにもなった者も3人いるそうです。学友が中心となって設立したロータリークラブも国内外にあります。皆さんが海外で何か活動しようとするとき、その国には米山学友がいます。日本語で話をすることができ、ロータリーをよく知る学友は、文字通り、日本と母国との架け橋となってくれるので。この、人づくりの事業は、皆さんのご寄付で作られています。

つづいて、財政状況・当地区の寄付実績についてご報告します。

2016-17年度、普通寄付金と特別寄付金を足した寄付金総額は13億7,305万円で、前年度から約2億円の減少となりました。米山では、寄付金はすべて奨学事業に使用するのが原則ですので、来年2018学年度の採用枠は820人（前年度+40人）とし、今後も状況に応じて奨学生を増やします。グラフは、地区別の個人平均寄付額です。昨年度の全国平均は15,435円、最も高かったのは、第2590地区（神奈川県横浜市・川崎市）の31,801円でした。

当地区は水色の矢印が指している所で、1人平均12,472円、全国で第22位でした。

米山への寄付金は大きく分けて2種類がありま

す。クラブが決めた金額を会員数分送金する「普通寄付金」は、全国平均が4,784円に対し、当地区は4,794円と上回っております。また、個人・法人・クラブからの任意の寄付、「特別寄付金」は、全国平均が10,651円、当地区は残念ながら7,679円となっております。先ほどの“個人平均寄付額”は、この普通寄付と特別寄付を合わせた金額です。特別寄付金の寄付者割合とは、会員の中で個人として特別寄付をした人の割合です。全国平均は43.6%、当地区は35.2%でした。

法人寄付も、ぜひお願いいたします。全国平均は36法人、当地区は11法人にとどまっています。このあたりに全国平均を下回っている要因なんでしょう。

先ほど見たように、全ロータリアンのうち特別寄付をした人の割合は全国平均で43.6%。因みに、第2650地区（福井・滋賀・京都・奈良）では84.0%のロータリアンが特別寄付をしています。

当地区では35.2%の方にご協力いただいています。今後、この特別寄付者割合は、奨学生採用数にも関わってきます。会員の皆さまが広く、少しづつでもご寄付くださいますよう、重ねてお願いいたします。

米山への寄付は、所得税・法人税の税制優遇が受けられます。特別寄付金だけでなく、普通寄付金も、申請をすれば領収書が出ます。すべての領収証を合算して、年間2,000円以上の寄付でメリットがあります。法人の特別寄付についても、法人税が軽減されます。同じ寄付をするなら、所得税や法人税が軽くなる米山へ、ぜひ、ご支援をお願いいたします。

ガバナーが掲げる当地区の今年度の目標額は、1人当たり16,000円となっております。因みに当西クラブの昨年実績は16,857円と目標を上回っています。地区で奨学生を何人採用できるかは、ほぼ、寄付額の全国比で決まります。1人でも多くの奨学生を採用できるよう、今年度の目標に向けてご協力をお願いします。

米山記念奨学会では、50周年記念事業の一つとして、記念誌が編纂されました。さらに、記念ネクタイとスカーフも出ました。お申し込みは米山

奨学会のホームページをご覧ください。

また、来年（2018年）2月4日、米山梅吉氏の生誕150年にあたる日に、東京・お台場で記念式典が開かれます。ぜひ奮って参加をお願いいたします。

最後に、再度お願いをいたします。

皆さんからの尊い寄付が1人の奨学生の未来を与えることになります。本日BOXに申込用紙を入れさせていただいております。ガバナーからの目標は16,000円となっております。どうぞよろしくお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

普通寄付金

クラブ事務局を通じて会員名を入力した日本の全ロータリークラブ会員からクラブを通じて定期的にいただく寄付です。各クラブで会員1人当たりの金額を決定し、半期に1度、会員数分をご送金いただきます。

特別寄付金

個人、法人、またはクラブから、普通寄付金以外に任意でいただく寄付金です。ロータリー関係者以外の一般個人、法人、団体からもお受けします。金額に決まりはありません。いつでも、おいくらからでもご送金いただけます。



例会風景

●卓話予告

日 時	テ ー マ
10/19(木)	職 場 訪 問 例 会



1. 真実かどうか?
2. みんなに公平か?
3. 好意と友情を深めるか?
4. みんなのためになるかどうか?

広島西RC [検索](#) 

例会日・木曜日 12:30~13:30

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78

例会場・ANAクラウンプラザホテル広島

リーガロイヤルホテル広島13F

会長 村上 智亮

TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870

幹事 前橋 寛

E-mail : hwrc@godorc.gr.jp

作成・会報雑誌・広報委員会